

## 昭和56年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

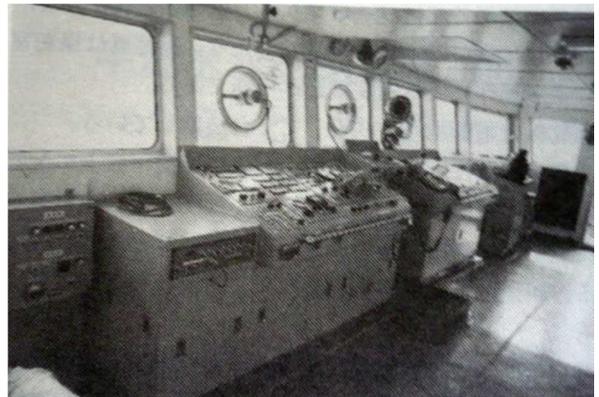
### 1. 「ことざき」 「船の科学」1981-9 (Vol.34, No.9) より採取。

- ・半没水双胴調査観測船 「ことざき」 総トン数 253.67 T  
西瀬戸内海における海洋の水質、底質等の調査。半没水双胴船としては世界で初めての海洋調査船である。
  - ・船主 : 運輸省第四港湾建設局
  - ・建造 : 三井造船(株)玉野事業所 昭和56年3月25日 竣工
- ・1) は本船全景、2) は操舵室で、ここに主機関を含め操船に必要な機能が集中的に配置されている。  
3) は操作監視卓、4) はデータ集録装置である。

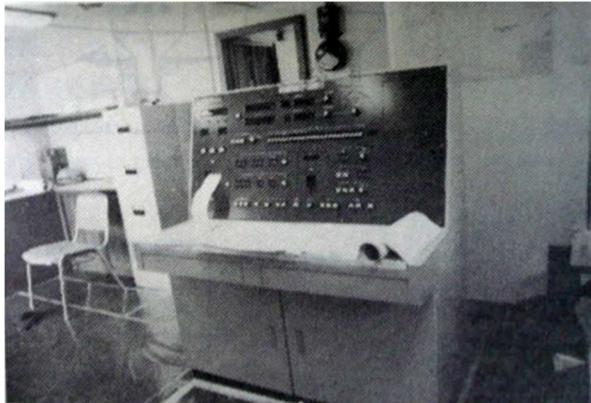
1) W56-01 ことざき 本船全景



2) W56-02 ことざき 操舵室



3) W56-03 ことざき 操作監視盤



4) W56-04 ことざき データ集録装置



### 2. 「和歌山丸」 「船の科学」1982-1 (Vol.35, No.1) より採取。

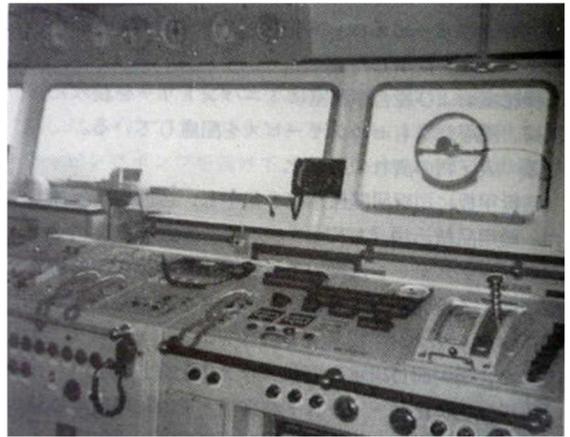
- ・第36次撒積貨物船 「和歌山丸」 DWT 133,357 t 5) W56-05 和歌山丸 本船全景  
オーストラリアと日本間の鉾石、石炭の輸送に従事。省力化、省エネルギー対策を施した高度合理化船である。18名船で、海事衛星通信システム (MARISAT) を装備。
- ・船主 : 第一中央汽船(株)
- ・建造 : (株)来島どっく 大西工場  
昭和56年9月16日 竣工

- ・5) は本船全景。

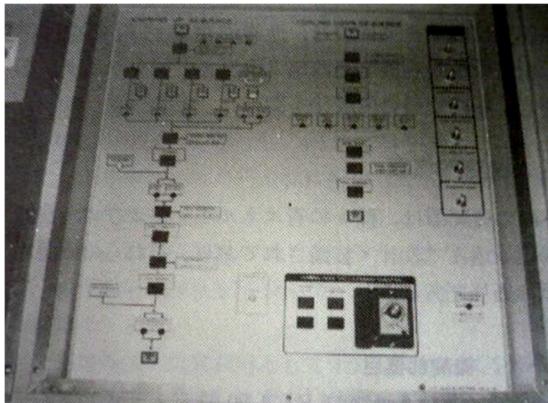


- ・ 6 ) は操舵室 ブリッジコンソール
- ・ 7 ) は操舵室 Stand-by Sequencer 各補機の遠隔・自動制御を行い、入出港作業の省力化を図る。
- ・ 8 ) は機関・バラスト制御室

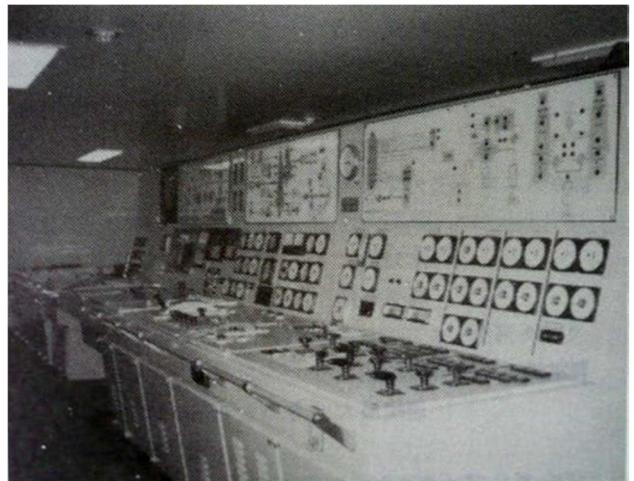
6) W56-06 和歌山丸 操舵室



7) W56-07 和歌山丸 操舵室  
Stand-by Sequencer



8) W56-08 和歌山丸 機関・バラスト制御室



### 3. 「PEGASUS」 「船の科学」1982-2 (Vol.35, No.2) より採取。

- ・ 豪華モータヨット 「PEGASUS」 総トン数 1,021.11 T 定員 34 名 (旅客 14 名)
- ・ 船主 : Evangelos P. Nomicos (ギリシャの富豪)
- ・ 建造 : 三菱重工業 (株) 下関造船所 昭和 56 年 5 月 竣工

- ・ 9 ) は本船全景、10 ) は操舵室

9) W56-09 PEGASUS 本船全景



10) W56-10 PEGASUS 操舵室



4. 「B.A.E. ORION」 「船の科学」1982  
- 3 (Vol.35, No.3) より採取。

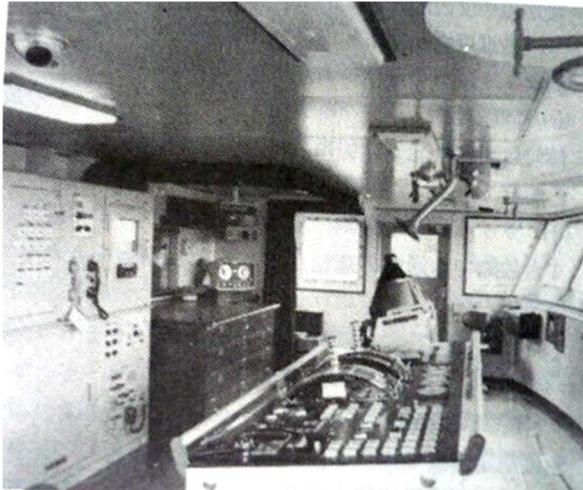
- ・電気推進式 海洋観測船 「B.A.E. ORION」  
総トン数 1,105.29t 海洋観測、地質調査、水路調査などを行う。推進方式 2機2軸サイリスター・レオナード制御の電気推進方式を採用している。
- ・船主 : Institute Oceanografico, de la Armada del Ecuador (Ecuador)
- ・建造 : 石川島造船化工機(株)  
昭和56年10月21日 竣工

11) W56-11 B.A.E. ORION 本船全景

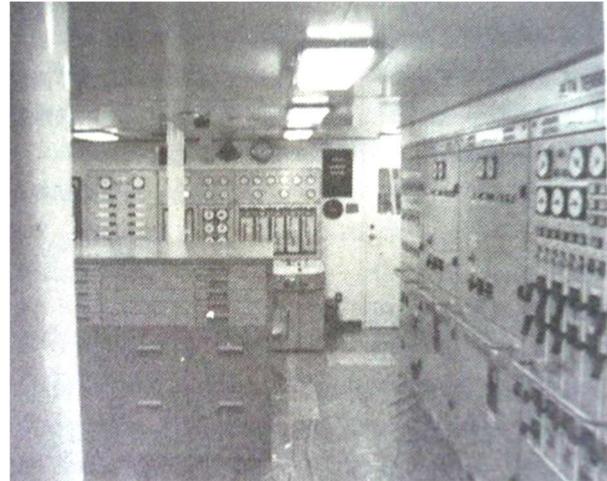


- ・11) は本船全景、12) は操舵室、13) は機関集中制御室

12) W56-12 B.A.E. ORION 操舵室



13) W56-13 B.A.E. ORION 機関集中制御室



[メモ]

- 1) 珍しい船が多い。半没水双胴調査観測船、豪華モータヨット、電気推進式海洋観測船など。